

実習施設の患者様に学生作成のクリスマスカードを届けました

キャリアプロジェクトの中のボランティア活動の時間に学生たちが、カードを手渡すことで、患者様に「看護を学ばせていただいている」という感謝の思いを直接伝える場ができればと考え、クリスマスに病床で過ごす患者様のためにクリスマスカードを作成しました。

令和7年12月19日（金）、今回の趣旨に同意が得られた5つの実習施設（三郷中央総合病院・吉川中央総合病院・八潮中央総合病院・三愛会総合病院・みさと健和病院）それぞれに、1年生2名、2年生3名と教員1名が訪問しました。どの施設の看護部の皆様に歓迎していただき、三郷中央総合病院と吉川中央総合病院では、病棟でクリスマスカードの贈呈式を行っていただきました。そして、学生代表者が看護部長にクリスマスカードをお渡しし、記念写真を撮影していただきました。（写真は三郷中央総合病院寄贈）

学生は患者様一人一人にクリスマスカードを手渡し、ことばをかわす度にあふれる患者様の笑顔に逆に元気をいただいたようでした。また、緊張してなかなか声をかけることができない1年生に寄り添い声をかける2年生がとても頼もしく思えました。

各施設、感染予防対策上、全員の学生が患者様のところに行くことはできませんでしたが、気持ちをこめて作成したクリスマスカードを患者様に喜んでいただけたことを学生たちと共有しました。

日頃より本校の教育に多大なるご理解とご協力をいただき、また、今回、有意義な時間を提供していただきました実習施設の皆様、患者様に感謝申し上げます。

